

秋元研究室紹介

専門: 海洋地質学, 海洋環境学, 海洋古生物学

研究の概要:

示相化石は、とても有用な環境復元のツールです。ツールの精度を高めるためには、化石が生きている時の情報が不可欠です。人為的汚染が進み、環境情報が多い海域で、環境と生物を調べています。環境測定では、3次元・同時・多地点が主流になりつつあり、AIを搭載したロボットが活躍しています。研究室では、化石を研究しながら、ロボットを利用して津波被災地や水中遺跡も調査しています。

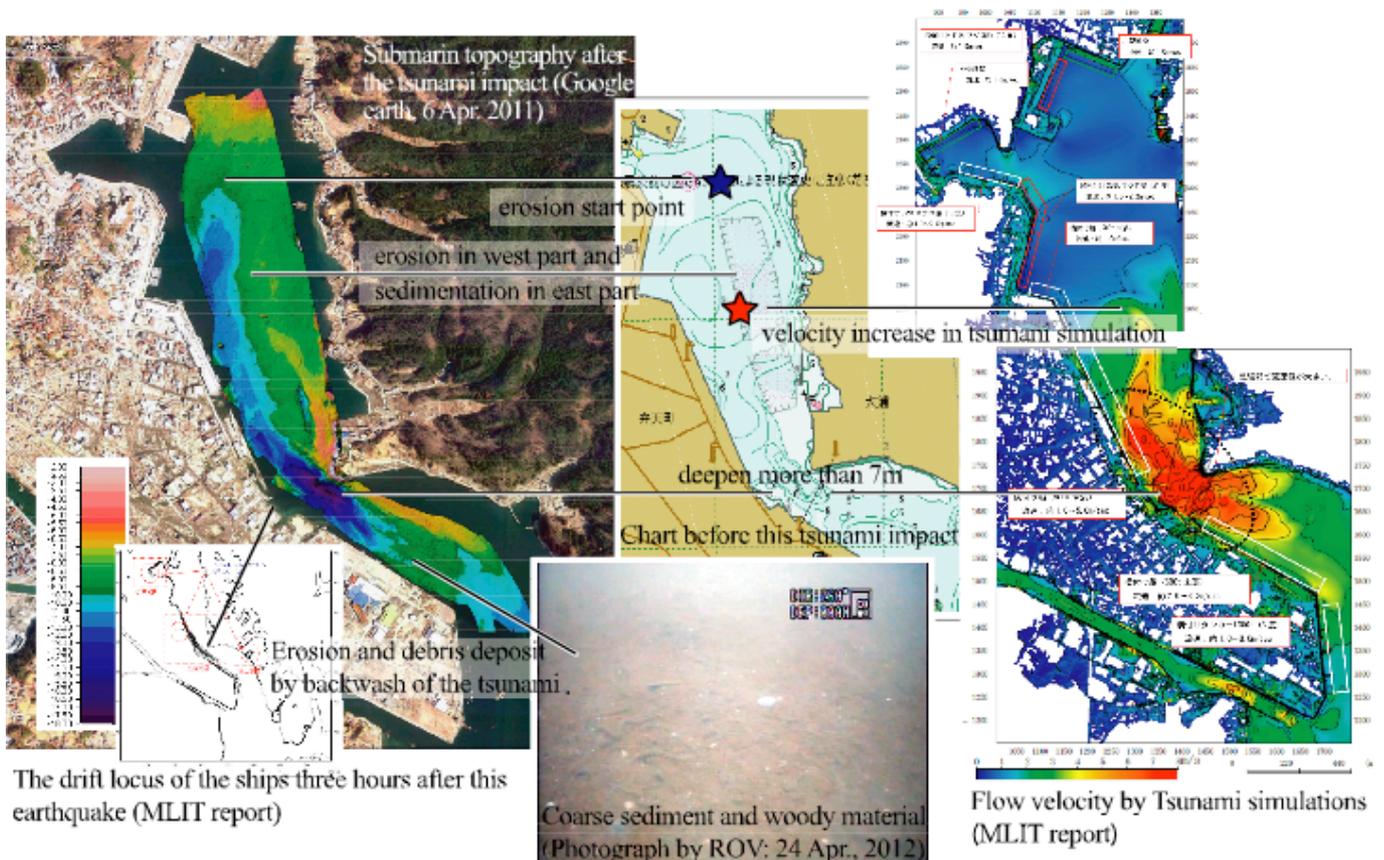
現在のテーマ:

- 1) 化学物質で汚染された環境における生物相の研究: 田浦湾 (ベンゼン類), 大牟田 (PCB), 水俣湾 (水銀), 気仙沼湾 (重油)
- 2) Bio-indicator の作成: 汚染前の生物相 (ミャンマー)
- 3) 歴史熊本地震の研究 (有明海)
- 4) 潮汐卓越型海域の環境変遷の研究:(八代海)

参考資料: 以下の HP で、研究を紹介しています。

- <http://kico.kumamoto-u.ac.jp/seeds/seeds/?id=339b>
(左 QR コード)

- https://www.fast.kumamoto-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2017/12/kazumi_akimoto.pdf
(右 QR コード)



2011年3月11日の津波襲来前後の地形変化, 流動シミュレーション, 瓦礫の分布の関係 (宮城県気仙沼)